

ふるさとの自然、暮らしや文化、 平和への想いを俳句に！

高津は、江戸時代から大山詣りで賑わった街道筋の宿場町として発展し、明治に入ってからは文人墨客の往来も頻繁で、今年生誕 150 周年の国木田独歩の名作『忘れえぬ人々』のドラマに満ちた舞台でもありました。

やはり今年生誕 110 年の芸術家・岡本太郎は当地の出身です。太郎は自作の「高津」に寄せて、「清らかな多摩川の流れ、遠く、大山詣りの人々を惹きつけてそびえる山、そして一筋の往還。ながい歴史、生活の厚みがそこに象徴されている。高津は母、岡本かの子の故郷だ。この絵は私の心に凝縮された、懐かしいふるさと高津である」と書いています。



国木田独歩

また、高津の象徴でもある「久地円筒分水」は今年竣工 80 周年。川崎のいのちの水である二ヶ領用水を、交差する平瀬川の下を伏し越させて円筒に吹き上げさせた独創的な分水装置で、戦争末期に造られました。その設計施工者・平賀栄治の顕彰碑は、往時の着工の苦難を今日に伝えています。

そんな歴史と文化の香るまち、ふるさとの自然や文化、そして平和への想いを俳句に詠んでお寄せください。

第 14 回高津全国俳句大会実行委員会



国木田独歩文学碑 高津図書館前
明治の自然主義文学の先駆者・国木田独歩は明治 30 年 (1897) に大山街道は溝口に来て、旅籠「龜屋」に一泊。やがて名作『忘れえぬ人々』を執筆。作品にはその龜屋の主人も登場する。文学碑の碑文は島崎藤村の揮毫。



久地円筒分水
右手前が平賀栄治顕彰碑

●第 13 回大会入賞作品より

みちのくの水のちからや今年酒	市ノ瀬 遙
ゴム風船ふうふう赤き母の頬	土屋裕美子
太陽の塔が舌打ちする暑さ	高橋 寅次
白磁壺何も挿さざる春の影	古川 夏子
土竜打ふるさと離れ五十年	川田 潔

← 切り取って投句用に貼ってご利用下さい



岡本太郎のレリーフ作品
高津市民館に展示



岡本かの子文学碑「誇り」岡本太郎作
「これは川の生命を身にあらわした、たくましく生きぬいた人間のアカシとして作った。かの子の文学碑であると同時に私の気持ちでは純粹に戦い、生きた、破れながらもついに貫く人間像を象徴したつもりである」
二子神社境内

投句募集要項

文化協会の HP にも募集要項、投句用紙を掲載しています。高津区文化協会 [検索](#)

投句締切	2021 年 8 月 25 日 (水) 当日消印有効 未発表の俳句作品に限ります。提出句の訂正、二重投句などは固くお断りします。
投句料	2 句 1 組 1,000 円 (2 組以上のご投句大歓迎) ※ 3 組以上ご投句の方には、高津全国俳句大会特製クリアホルダーを贈呈します。 小学生の部：1 人 1 句・無料 投句された方には、俳句大会当日の入場ハガキ (入場料 500 円) を 9 月末頃に郵送いたします。 当日欠席の方には、大会後に『入選作品集』等を郵送いたします。
投句要領	裏の「投句用紙」に楷書で、ていねいに明記し、切り取って郵送してください。 振込先 加入者名：高津区文化協会 口座記入番号：00290-4-57755 〒213-0001 川崎市高津区溝口 1-4-1 高津市民館内 高津区文化協会「俳句大会」係 前ページ左下の「送り先」あて名を点線で切り取って、投句用封筒に貼ってご利用ください。
入賞	☆高津全国俳句大会大賞・川崎市長賞・川崎市教育委員会賞・神奈川新聞社賞・高津区長賞 高津観光協会賞・高津区文化協会賞・プラチナ大賞 ☆「特選」 ☆「秀作」 ☆「佳作」 ☆「入選」など ※入賞の事前問い合わせ等には応じられません。 ☆小学生部門：ジュニア賞、秀作など ○小学生俳句選者：谷村鯛夢 (俳人協会会員、石田波郷俳句大会ジュニア俳句選者)

俳句大会 (新型コロナウイルス感染状況により内容変更の場合もあります)

開催日時	2021 年 11 月 14 日 (日) 13:30 ~ 16:00 開場・受付 12:30 ~								
大会会場	てくのかわさき (川崎市生活文化会館) ホール (2 階)								
プログラム概要	<table border="0"> <tr> <td>12:30</td> <td>受付開始</td> </tr> <tr> <td>13:30</td> <td>開会 江成常夫・映像投射と講演 「鎮魂—鬼哭の島」 石 寒太・江成常夫の対談 鬼哭の島 ~写真と俳句のかたち~</td> </tr> <tr> <td>15:20</td> <td>スクリーン映写による 入賞作品の講評 入賞者の表彰</td> </tr> <tr> <td>16:00</td> <td>終了</td> </tr> </table>	12:30	受付開始	13:30	開会 江成常夫・映像投射と講演 「鎮魂—鬼哭の島」 石 寒太・江成常夫の対談 鬼哭の島 ~写真と俳句のかたち~	15:20	スクリーン映写による 入賞作品の講評 入賞者の表彰	16:00	終了
12:30	受付開始								
13:30	開会 江成常夫・映像投射と講演 「鎮魂—鬼哭の島」 石 寒太・江成常夫の対談 鬼哭の島 ~写真と俳句のかたち~								
15:20	スクリーン映写による 入賞作品の講評 入賞者の表彰								
16:00	終了								



連絡先

高津区文化協会事務局 (田村) 090-9314-1430 FAX (044) 844-4471 メール: eptamura@nifty.com
http://takatsu-bunka.org/ 〒213-0001 川崎市高津区溝口 1-4-1 高津市民館内

213-0001 川崎市高津区溝口 1-4-1
高津市民館内
高津区文化協会「俳句大会」係